


2018～2019 年度国際ロータリーのテーマ

インスピレーションになろう

●会長 白石 繁
●幹事 村瀬 直久

 No.1649 平成 31 年 02 月 20 日 第 30 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <http://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org



インスピレーションになろう

■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■熊本東南RCの歌「Joyful And Good」

熊本東南ロータリークラブの歌

ジョイフル アンド グッド (Joyful and Good)

作詞 長期戦略委員会

作曲 LAMMY MUSIC

♪ 1

ロータリーへ行こう 素敵なお仲間と会えるから

ロータリーで学ぼう 奉仕の心を育もう

ロータリーを語ろう 未来の夢を描こうよ

ジョイフル アンド グッド 熊本 東南

ジョイフル アンド グッド ロータリークラブ

♪ 2

ロータリーへ行こう なんだか心が和むから

ロータリーで学ぼう 四つのテストに照らして

ロータリーを語ろう 世界の平和をめざそうよ

ジョイフル アンド グッド 熊本 東南

ジョイフル アンド グッド ロータリークラブ

ジョイフル アンド グッド 熊本 東南

ジョイフル アンド グッド ロータリークラブ

■来訪者紹介

(熊本東南RC会長 白石 繁)

卓話者 井上 幸 様 (玉名RC)

熊本城東RC 宮田理恵 君

■会長の時間

(会長 白石 繁)

◆「開く」がいいのか 「引く」がいいのか

建築の設計をしていますと日本と西洋の歴史的背景の違いを深く感じる場合があります。その一つに「扉(戸)」があります。ご存じのように戸の形状には大きく分けて二つの種類があります。一つは、開けて使う「開き戸」、もう一つが横に引いて使う「引



き戸」です。

欧米や中国をはじめ日本を除く世界の大半は「開き戸」であるドアが殆どなのに、どうして日本では「引き戸」となったのでしょうか。昔から欧米にも「引き戸」はありまし、日本にも「開き戸」はありまし、互いが一つの形式しか知らなかった訳ではありません。

ところが日本では「引き戸」が主に使われ、「開き戸」は、お城や武家屋敷など敵から攻められそうな所のみに使われました。このことから扉の形式は防衛を強く意識した装置であることが想像できます。あまり防衛の必要が無いところは、「引き戸」とし、一般的な建物であれば出入口も引き戸、家の中の部屋と部屋の戸は障子や襖の「引き戸」であることが一般的でした。一方日本以外の外国では、出入口は勿論、窓も内外を繋ぐあらゆる開口部に「開き戸」を使っています。ということはそこまでしなければ安全ではなかった。安心できなかったということです。言い換えれば、「引き戸」をお多用している日本は非常に安全な国であったということです。

歴史上、日本の戦(いくさ)は殆どが国内での日本人同士の戦いでした。そして戦うのは武士のみ、戦った武士でさえ敗れてもトップ(指導者)が代わるだけで、戦(いくさ)はそれで終わり、武士以外の商人や農民は、どちらが勝っても「お上」が代わるだけで自分たちには何ら関係ありません。殺されることも追放されることもありません。

ところが、大陸の戦(いくさ)は異民族との戦いです。負ければ殺され、兵隊は勿論、市民まで滅ぼされ、或いは奴隷として売り払われました。扉は、大切な防御装置だったのです。そのようなことで、日本では、防御をさほど重要としない使い勝手の良い「引き戸」が使われるようになったようです。

明治以後、西洋文化が入ってくる中で、建築様式も西洋化しました。それまで幕末まで長い時代使われ続けてきた日本独特の「引き戸」文化も様式や流行として「開き戸」に取って代わりました。特に戦後は、生活の様式が西洋化し、住宅建築の際、「洋風なら扉はドア」と言うようにその機能や特徴などあまり意識せずに「開き戸」が採用されるようになってきました。

近年、「引き戸」の特性が再認識され、住宅をはじめ各種施設等でも「引き戸」が採用されるようになりました。完全に「閉める」か「開ける」しかできない「開き戸」に代わり、多様な使い方ができる「引き戸」は本当に魅力的です。そして何より「引き戸」には人と人の気持ちや関わり方を程よく繋いでくれる「引き戸」にしかない見逃せない魅力があります。

皆さんのお住まいや事務所でも扉は「ドア」という固定した思いではなく、今一度「扉のありかた」を意識して選定をなされれば「質の高い建築空間」になろうかと思えます。

■幹事報告

(幹事 村瀬直久)



1) 国際ロータリー第2720地区 1992～高山泰四郎ガバナーより、第31回全国ローターアクト研修会並びに国際ロータリー第2700地区ローターアクト第50回地区大会の案内。

日程 2019年4月28日(日)～29日(月・祝)

場所 福岡国際会議場、福岡サンパレス

※参加希望の方は、3月15日までに熊本東南RC事務局までご連絡ください。

2) チャイルド・ファンド・ジャパンより、会報「スマイルズ」の送付。

■今後の予定

2月	2月22日(金)	熊本第3グループIM	熊本県 熊本市	熊本ホテルキャッスル
		福井学、松本繁、松本一也、前田日出夫、村瀬直久、宮川義行、小野川善久、佐野茂、白石繁、内田信行、山田公也、彌富照皇		
	2月23日(土)	人吉中央RC創立30周年記念式典	熊本県 人吉市	アンジェリーク平安
2月		白石繁、村瀬直久、宮川義行、小畑成司、内田信行、松本繁		
	2月24日(日)	「国際奉仕のつどい」セミナー	大分県 大分市	大分県消費者生活・男女共同参画プラザ「アイネス」
		案内中(会長、会長エレクト、国際奉仕担当委員)		
3月	3月9日(土)	熊本RC創立80周年記念式典	熊本県 熊本市	熊本ホテルキャッスル
		福井学、松本繁、松本一也、前田日出夫、村瀬直久、宮川義行、沼田敏雄、佐野茂、鈴木義親、白石繁、内田信行、山田公也		
	3月23日(土)	熊本北RC創立40周年記念式典	熊本県 熊本市	熊本ホテルキャッスル
		福井学、松本繁、村瀬直久、宮川義行、白石繁		

■委員会報告

(熊本東南35周年実行委員長 松本 繁)

35周年について



■ロータリー情報の時間

(ロータリー情報担当委員 鈴木義親)



ロータリー文庫のデジタル化された投稿を検索していましたが「会費免除」についての一文がありました。「出席免除」については見聞きしておりましたが「会費免除」については初耳です。投稿文を紹介します。

福島南RC 齊藤 浩氏「クラブの会員」

「2013年手続要覧」には、過去発行されたものと違い、違和感を覚えている。会員増強は永遠に継続されるものであるが、その一端として、若い職業人を引きつけるため、「クラブは、年齢35歳未満の会員の会費と入会金を免除できる」とある。「できる」とは、免除しても、しなくても、強制されるものではないと解釈すべきと思うが、それでいいのだろうか。

先だって、私のクラブに25歳の青年が入会した。勿論最年少の会員となったが、「手続要覧」に書いてある、入会金、年会費の免除をどうすべきか理事会で検討する事もなく、請求書を発行し、本人は入会金その他を支払った。一件落着と思えたが、お互いにルールを知らないで事を運んでしまったのである。35歳未満の入会者については、今後クラブ細則に明記しないと請求しないとできないのか、あるいは双方の合意で支払うこともあり得るのか、わかりづらい。又、入会后35歳までは会費免除が続くのか、35歳未満であっても、例えば30歳からは免除にしない事にするのか、これも双方の合意で決定されるものとなれば、不公平である。先月入会した会員と今月入会した会員が、諸事情を考慮して、免除される者と、免除されない者が発生しては。皆に公平とは言えない。当地区では会員数が10人以下のクラブが1割近くを占める。小さいクラブでは、会員増強の為に会費免除をしてはクラブ存続もままならない。なりふり構わず会員増強に力を入れ過ぎては元も子もなくなってしまうことが心配である。全国のクラブでも対応に苦慮しているのではないだろうか。

(第2530地区 福島県 歯科医)

クラブ歴の多い会員の意見では会員増強の一環としてローターアクトの若い人々をロータリーに取り込む手段として会費免除が取りざたされた事はありませんが会費免除の規定は無いとのことであります。

上記の記事情報を掲載させて頂きました事をお許し願います。



■出席報告

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
02月06日	45 (免3) 42	32	2	34	80.95
02月20日	45 (免3) 42	31			73.80

☆新入会

☆退会

☆出席免除

02月06日 島村徹男 住江正治 鷲山法雲

02月20日 島村徹男 住江正治 鷲山法雲

☆欠席者 8名

02月06日 西村陽介 内田敏視 渡邊一弘 堤 勝也
山坂哲生 山本浩之 岡本千代門 小野川善久

今度の100%出席の日は 2月27日です。

■スマイル報告

(親睦・スマイル担当委員 堀内健太郎)



◎宮田理恵様(熊本城東RC) 1,000円

今日はメイクアップにお邪魔しました。

◎内田信行 5,000円

35回目の結婚記念日のお祝いの花ありがとうございました。先日のグリーンロータリーの30周年の後の2次会で、またお花を頂き、花のお陰で後5年位は夫婦でおられそうです。今日、慈愛園に自転車の寄贈に潮谷さん、緒方会員と行って来ました。潮谷さんの奥さんも居て頂きました。熊日からの取材も来て頂きました。井上さんの卓話ありがとうございます。

◎古田哲朗 5,000円

職業奉仕の外部卓話である井上幸さんのお話を楽しみにしています。ただ、社労士の倫理研修に行かねばならず、ギリギリまで居て早退します。お詫びのスマイルします。

◎宮川義行 5,000円

本日は玉名RCの井上幸さん、卓話ありがとうございます。このまま東南ロータリーへどうですか？

16日、中津で地区研修会に古田会員、山田会員と参加しました。職業奉仕をポール・ハリスの言葉で伝えていこうと議論が盛り上がりました。18日はグリーンロータリーの30周年、15名の参加お疲れ様でした。グリーンロータリーの奉仕活動の幅広さに驚きました。講演された民宿花月の大久保さんの「インドに幼稚園を作ろう」の話も、1人でインドのスラム街で幼稚園活動されている姿に感動しました。本職の民宿花月は以前から利用させて頂いて、夕食時に女将さんとはよく話し合っていたのに講演はまた新鮮でした。東南ロータリーでもグローバルな活動が出来るように頑張ろうと思いました。

◎小畑成司 2,000円

城東ロータリークラブ美人の宮田さんと玉名ロータリークラブ美人の井上さんの御来訪を歓迎します。早退しますので卓話が聞けなくて申し訳ございません。子どもの頃から旅行をお世話していた子が宝塚宙組のトップスターになり、今、真風涼帆として売り出しております。博多座で公演をしておりますので、そのツアーに行ってみます。

◎山田公也 1,000円

職業奉仕外部卓話者として来訪いただきました井上様、ありがとうございます。卓話楽しみにしています。

■職業奉仕委員会外部卓話

(井上幸様(玉名RC))

「接待マナーについて」



Seren, Inc.
mind & communication

株式会社セレン
代表取締役 井上 幸

事業内容：
法人向け 第0印象イメージコンサルティング
コミュニケーション研修
NLPリーダー育成研修
接客力育成研修

パーソナル NLPリーダー育成トレーニング
全米NLP資格取得
心理カウンセリング・コーチング

保有資格：全米NLP協会公認トレーナー
MAIC認定国際マナーコミュニケーションアドバイザー
LABプロファイル@プラクティショナー

NLP(コミュニケーション心理学)の手法とマナーを取入れた第0印象イメージアップトレーニングを開発。

基本を軸においたオリジナルプログラムの研修は“わかりやすさ”と“即実践的”である。法人向けに活動している第0印象イメージコンサルティングは、企業のイメージアップに繋がりスタッフの接客力を向上させ組織の底上げを目指す。スタッフの一人ひとりの自己肯定感を高めていくことは組織全体のモチベーションアップや生産性を高め作業効率アップ・離職率低下に繋がる。また組織の経営成績アップなど、経営コンサルタントがまだ気付いていない視点で経営改革の研修が特徴である。

大きな行動をとれば大きな結果が生まれます。
小さな行動をとれば小さな結果が生まれます。

ただ、小さな行動を積み重ねれば必ず大きな結果が生まれるものです。

小さなことをおさなりにせずに「当たり前」を徹底し人としての土台を築く。小さな積み重ねが大きな信頼へとつながること人間力が高まると伝えています。一人でも多くの方が愛され磨かれ心の基準を上げ一人ひとりがより良い影響を放つサポートをしていくことが私のミッションです。



住所：〒865-0064 玉名市中1831-4
携帯：090-2586-4511
E-Mail：mail@seren.info
https://www.seren.info

企業研修・講演実績

西部ガス株式会社 様
タイヘイテクノス株式会社 様
(株)フタバ 様
九州プラスチック工業株式会社 様
日本政策金融公庫 様
税理士法人ユース会計社 様
司法書士法人行政書士 あかりデラス様
OCM株式会社 様
(株)モイスティス フルール 様
(株)サンコーライフサポート 様
(株)天水総合カンパニー NTTコム事業部様
(株)信明運輸 様
(有)ビルメイト 様
(有)海崎 様
KKT!医療ナビ DRテレビたん 様
社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 様
医療法人社団 聖和会 有明成仁病院 様
医療法人社団 一心会 前田小児科医院 様
医療法人社団 森の晩会 もりの歯科クリニック 様
医療法人結善会 たぐち整形外科クリニック 様
医療法人社団 誠和会 岡本外科 様
医療法人如水会 嶋田病院 様
医療法人田嶋会 たしま外科内科医院 様
熊本リハビリ内科クリニック 様
おつか整形外科 様
港町ひさかひ歯科 様
しおや内科・内視鏡科クリニック 様
岩本整形外科 様
社会福祉法人親友会 介護老人保健施設 松平 様



有限会社 池端うづら園 様
金のつばきグループ 様
(株)ジョースマイル 様
(株)クマモトメディカル 様
NPO法人 オールサポート 様
公共社団法人 熊本県歯科衛生士会 様
公益社団法人 熊本県トラック協会 様
玉名市役所 農林水産課 様
一般社団法人 玉名青年会議所 様
公益社団法人 玉名法人会 様
一般社団法人 倫理法人会 様
玉名商工会議所 様
玉名ロータリークラブ 様
くまもと創造プラザ33 様
介護経営塾志乃会 様
熊本学園大学志文会 様
学校法人 熊本城北学園 九州看護福祉大学 様
学校法人 熊本城北学園九州看護福祉大学 茶屋道研究室卒業研究会 様
学校法人 開新学園 開新高校 様
熊本県立 湧心館高等学校 様
玉東町立 木葉小学校 様 他、



Seren, Inc.
mind & communication

■点鐘

編集者 松岡 泰光

国連誕生にかかわったロータリアンたち

投稿日：2月15, 2019

～サンフランシスコでの熱き議論から見える平和への切望

peace blog NY photo 世界平和を推進する国際機関の代表ともいえる国連ですが、その創設にロータリアンがかかわっていることをご存知でしょうか？その経緯はこちらの記事から詳しくお読みいただけますが、今回は『The Rotarian』誌（1945年7月号）に掲載された「Report from San Francisco」（サンフランシスコからの報告）という記事をご紹介します。この記事は、同誌編集者リーランド・ケースが書いたサンフランシスコ会議（* 下記注）の報告記事に対し、ロータリアン代表として同会議に出席した数人のロータリアンがコメントを寄せるという興味深い形式をとっています。



この記事から、サンフランシスコ会議で平和に関する熱い議論が交わされ、「どうすれば平和を持続できるか？」という問いに各国の出席者が真剣に向き合っていた様子がうかがえます。

記事の冒頭で、ケースは次のように述べています。「未だかつて、勝利を目前とした連合国が、終戦を前に、領土の分割や補償金の徴収のためではなく、平和を維持する機構を計画するために会合を開いたことはない」

この部分について、サンフランシスコ会議にロータリアン代表として出席したチェコスロバキア元外務大臣のヤン・マサリクは、次のようにコメントしています。

「サンフランシスコ会議は、この戦争による犠牲と苦しみを無駄にしない世界をつくるために招集された。（中略）生き延びた私たちには、ほぼ過重と言えるほどの責任があるのだ」

Report from San Francisco



Report from San Francisco 『The Rotarian』誌 1945年7月号に掲載された「Report from San Francisco」という記事の最初のページ。編集者ケースが書いた中段の記事に対し、サンフランシスコ会議に出席した4名のロータリアンがコメントを寄せる形式となっています。

また、ケースが「自分たちの望む憲章を起草するために、各参加者がサンフランシスコで激論

を闘わせていることは事実だが、希望は大きい」と記した部分に対し、サンフランシスコ会議に出席したもう一人のロータリアン、カルロス P. ロムロ（フィリピン）は、こうコメントしています（ロムロは後に国連総会議長も務めています）。

「意見の食い違いは、もちろんある。しかし、これらは調停可能だ。なぜなら、この会議の精神は、未永い平和を可能とする憲章をつくり上げたいという切望なのだから」

もう一人のロータリアン代表で、元パナマ大統領であるリカルド J. アルファロは、ケースが使った「Peace Loving nations」（平和を愛する国家）という言葉に対し、次のコメントを寄せています。

「☑平和を愛する“という言葉は、論理的な根拠があって憲章から削除された。平和とは客観的なものであって、主観的なものではない。平和が存在するか、かく乱されるかは、感情ではなく、行動によって決まるのだ」

またアルファロは、目標とすべきは「正義の上に築かれた平和」であり、そうでなければ「おしつけの平和になり、長続きしない」と警告しています。新たに設立される国際機関（国連）が「個人の幸せに目を向けてはじめて、個人の自由と責任に対する人びとの支持が得られる」と述べ、草の根レベルでの理解の重要性を唱えている点は、ロータリアンらしいと言えます。

サンフランシスコ会議で起草された国連憲章は、人類の平和への希求の結晶ともいえるでしょう。記事の最後のページで、ヤン・マサリクはこう述べています。

「ここサンフランシスコでは多くの観点から意見が述べられたが、国際連合は一つの点で全員が一致していた。それは、平和への意志であり、言葉に絶するほど悲惨な昨日の後により良い明日を築こうという意志である」

* サンフランシスコ会議：正式名称は「国際機関に関する連合国会議」。1945年、50カ国の代表がサンフランシスコに集まり、「戦争の惨害」を終わらせるとの強い決意のもとに国連憲章を起草。1945年6月26日に署名された。（出典：国際連合広報センター）

2月はロータリーの「平和と紛争予防／紛争解決月間」です。平和の推進をめざすロータリーのさまざまな取り組みをご覧ください。

ロータリー平和フェローシップ
国連でのロータリーデー
ロータリーの活動分野：平和の推進

（執筆担当：時山）

